

第13回日本感染管理ネットワーク東北支部総会・研修会報告

2024年10月12日（土）12:30～16:30 岩手県盛岡市 マリオス180・181室において、「災害に備える、互いに支える感染制御活動～様々な場面での支援からみえてきたこと～」というテーマで開催いたしました。



総会 東北支部会員144名中42名（及び委任状54名）の参加により、議案は可決されました。 水野支部長あいさつ

研修会 東北支部会員42名 非会員9名 合計51名の参加がありました。
各県代表による「災害時の感染制御活動報告」が行われました。

教育講演として、日本環境感染学会
災害時感染制御検討委員会副委員長
櫻井滋先生による、
「災害時感染制御支援チーム（DICT）と
ICNに求められる役割」が行われました。



青森：元木健介さん



秋田：中村美央さん



岩手：福田祐子さん



宮城：佐藤ひろみさん



山形：栗田香さん



福島：西畑利恵子さん



災害時感染対策の第一人者として、DICT
の立ち上げから現在、私たちがやるべきこと
をわかりやすく面白く教えていただきました。

ICNの能登半島支援、自施設の水害時の対応、ICATの歩みについて、
震災の経験、災害支援ナースとしての活動、自然災害における人・物など
経験でしか得られない知見を熱く語っていただきました。涙しながら聴講す
る方もおり、忘れられない研修会となりました。



発表者・講師・支部役員一同